

(様式1－第三者評価機関公表用)

宮城県福祉サービス第三者評価結果

1 第三者評価機関名

NPO法人 介護の社会化を進める  
 一万人市民委員会宮城県民の会

2 施設・事業所情報

名称：ニチイキッズ仙台あらい保育園	種別：保育施設
代表者氏名：園長 加藤祐子	定員（利用人数）： 60名
所在地：仙台市若林区荒井三丁目28-5	
TEL：022-288-5331	ホームページ：hst7g8@nichiigakkan.co.jp
<b>【施設・事業所の概要】</b>	
開設年月日 平成28年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）： 株式会社 ニチイ学館	
職員数	常勤職員： 11名 非常勤職員 8名
専門職員	保育士 9名 保育士 4名
	管理栄養士 2名 保育支援員 1名
	調理員 2名
	事務員 1名
施設・設備の概要	(居室数) 7 (設備等) 冷暖房、床暖房、空気清浄機

3 理念・基本方針

保育理念：おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ  
 私たちは「やさしく・つよく生き抜く力」を育みます。  
 保育目標：すくすく育つ/健康な心と健康な身体  
 わくわく遊ぶ/積極的に学ぶ好奇心 豊かな創作力と自己表現  
 いきいき過ごす/自ら考え行動する自発力 地域で育む思いやりと広い視野

4 施設・事業所の特徴的な取組

- ・情操教育として、月1回リトミックを取り入れた活動を実施している。
- ・月2回、外部講師による英語レッスンと体操教室を実施している。
- ・昼食において、三大アレルギー原因の食材を使わない献立を導入し、皆で同じものを食べる楽しい給食を行っている。(おもいっきり給食の実施)
- ・子育てひろばを月1～2回実施し、地域に向けて保育園での取組みを発信している。(リトミックへの参加、親子ふれあい遊びの実施など)

5 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年11月10日（契約日） ～ 令和3年3月17日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	初回（平成2年度）

6 総評

◇特に評価の高い点

○ 働きやすい環境づくりに努めています。

法人の各種福利厚生制度が確立しており、育児や介護の休業制度をはじめ各種の職員休暇制度が整っています。職員は有給休暇の取得が義務付けられており、未消化分を翌年度に繰り越す「家族愛休暇」なども取り入れています。子育て支援のサポート企業として、次世代認定マーク「くるみんマーク」と仕事と介護の両立支援の「トモニンマーク」を厚生労働大臣から認定を受けて推進しています。

○ 保育の質の向上に向けた職員の育成が行われています。

職員の階層別研修や外部研修、OJT研修、園内研修など研修の体系が確立しています。「目標管理シート」を用いて、自己目標の設定と年2回の施設長との個別面談で達成度が確認され評価や指導が行われています。又、今年度新たに「自己評価」を導入しました。

○ 安全な食事への取り組みが図られています。

「おもいっきりみんなで食べられる給食」を保育園の給食方針として掲げて、三大アレルギー食材である「卵・乳・小麦」を使わない献立を導入し、アレルギーのある子どももみんな一緒に食べられる給食を提供しています。季節感のあるもの、郷土料理などを取り入れた献立を作成し、子どもの食に関する経験を広げています。有害な食品添加物や遺伝子組み換え食品、加工品は極力使用せず、安全な食材を使用し、料理は薄味で、子どもの味覚の発達を大切に育てています。

◇改善を求められる点

○ 中・長期的ビジョンの明確化。

中・長期の事業計画は法人本部で作成しており、保育園としての独自の中・長期の計画が策定されていません。保育園独自の取り組みと策定が望まれます。

○ 地域との交流を広げる取り組み。

「子育てひろば」の開催により、保育園の専門的な知見を提供しています。「全体的な計画」に掲げられている「地域社会との交流や連携を図り、保育の内容を適切に説明する」ためには、地域に住んでいる人々との直接的な交流を目指したい。

更に、地域との関係を深め、保育園に対する理解を得ながら、地域の福祉ニーズや課題の把握に努め、より一層の積極的な地域交流活動への取り組みを期待します。

7 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園してから初めての受審となりました。自治体の指導監査とはまた違う視点で、かなり細部までの質問が多いと感じました。園の経営・運営をはじめ、職員の教育、中・長期計画の策定が必要であること等、多方面に亘ってご助言を頂きました。普段理解して取り組んでいると思う部分についても、改めて問われると「もっと力を入れなければ」と気づく箇所がありました。「働きやすい環境づくりに努めている」「保育の質の向上に向けた職員の育成が行われている」「安全な食事への取り組みが行われている」という点について高い評価を頂き、大変嬉しく思いました。今回の受審を通して、保育園としての課題が明確になり、不足している部分については今後改善して参ります。保育の質の向上に更に励み、保護者から信頼される、地域に根ざした保育園となるよう目指していきたいと思えます。

8 各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙のとおり（施設の区分に応じ福祉サービス第三者評価結果票を添付する。）

**令和2年度 宮城県福祉サービス第三者評価結果票  
保育所(園)**

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
<b>I 福祉サービスの基本方針と組織</b>			
<b>1 理念・基本方針</b>			
(1) 理念・基本方針が確立・周知されている。			
① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	<p>保育園ではニチイキッズ保育園共通の理念「思いっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」や保育目標「すくすく育つ/健全な心と健康な身体」を掲げており、パンフレットやホームページに掲載されている。毎月の職員会議の折、全員で唱和し理念の意義を確認している。保護者には見学会や入園時にパンフレットや「入園案内兼重要事項説明書」で説明し、周知を図っている。</p>	a	1
<b>2 経営状況の把握</b>			
(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
① 事業経営を取り巻く環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	<p>法人支店では、市の福祉計画や待機児童の状況を把握し保育園と共有している。保育園では毎月、仙台市のホームページを閲覧し、市担当者と面談するなど、エリア内保育所の入所者数や待機児童数等の情報を把握している。施設長は保育内容や保育園の収支を毎月分析し、経営状況を把握している。</p>	a	2
② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	<p>施設長は、毎月保育園の運営状況や収支内容を把握し、法人支店へ報告している。保育園では職員会議などで経営状況を話し合い、入園児の稼働率を100%に上げる目標を掲げ、ほぼ達成している。課題等は施設長を中心に取り組む体制を整えており、経費の節減等職員全員で取り組んでいる。</p>	a	3

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
3 事業計画の策定			
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	法人の中・長期計画(VISION25、2019~2025)が策定されている。しかし保育園独自の中・長期計画の作成には至っていない。今後、保育園独自の特性を踏まえた中・長期計画の作成が望まれる。	b	4
② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	単年度の事業計画はクラス編成、保育予定数、全体的な指導計画をはじめとする各指導計画、健康管理、安全管理、職員構成、健康管理、行事計画、研修計画、収支計画等全て策定されている。しかし中・長期計画を反映したものではない。今後、中・長期計画を反映した単年度の計画が望まれる。	b	5

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
(2) 事業計画が適切に策定されている。			
① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	事業計画はニチイキッズ共通の仕様書をベースにしている。年度末の職員会議で振り返りや新年度の計画について話し合い、見直しが必要な内容については、法人と協議して事業計画書を策定している。事業計画書は全職員に配布し、職員会議等で周知している。行事等が終わった後には保護者アンケートとともに全職員で反省や評価が行われている。今年度から保育に関わる「自己評価」制度が導入され、取りまとめの結果がホームページなどで公表される予定である。事業計画の評価・見直しの取り組みが前進することを期待したい。	b	6
② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	入園時に「入園兼重要事項説明書」をもとに保護者に説明している。又、年2回運営委員会を開催し、クラス代表の保護者に事業計画の説明と報告を行っている。事業計画の主な内容はホームページに掲載されている。行事等は毎月の「園便り」や「クラス便り」で知らせるほか、送迎時に保護者に職員が伝えている。行事等の写真は希望者に頒布されている。	a	7
4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組			
(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。			
① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	施設長は法人の定めている、事業運営の細部に関わる「拠点事業報告書」を作成し、支店に毎月報告している。保育園では毎月の職員会議で、事業の進捗状況や保育の内容が話し合われ、事業に反映されている。職員は「目標管理シート」を用いて具体的な目標を立て、自身の保育力の向上に取り組んでいる。今年から新たに保育園としての「自己評価」が全職員で行なわれている。目標は各職員が施設長と面談して決め、上期と下期の評価が行われる。まとめた結果はホームページで公表される。	a	8

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
<p>② 評価結果に基づき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。</p>	<p>職員は「目標管理シート」により、保育目標を設定し、上期と下期の年2回、施設長が面談し評価やアドバイスを行っている。評価内容は職員個人の目標である。今年新たに導入した「自己評価」は保育事業全般の課題の抽出・分析、解決・改善の仕組みとなっている。自己評価の結果、課題を明確にした取り組みに期待したい。</p>	<p>b</p>	<p>9</p>

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
Ⅱ 組織の運営管理			
1 管理者の責任とリーダーシップ			
(1) 管理者の責任が明確にされている。			
① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	法人の保育施設組織体制規程や保育園運営規程、施設長業務マニュアルに施設長の役割と責任が規定されている。施設長は令和2年4月1日に就任しており、就任時に職員や保護者に施設長の役割と責任等について挨拶の中で意思表示をし、更に、職員には会議の折にも伝えている。運営規定を玄関に掲示し、施設長の権限と責任が明示されている。毎月の園便りに施設長のコメントを掲載している。	a	10
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	施設長は法人のコンプライアンスに関する研修を受けている。又、職員には保育業務マニュアル等でコンプライアンスについて指示し、更に、「コンプライアンス・個人情報保護自己点検シート」により確認している。但し、法人の作成したものに限っている。今後、遵守すべき法令等の把握や一覧表の作成、体制の整備とともに消費者保護関連法令等の職員への周知の取り組みが期待される。	b	11

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
① 保育の質の向上に意欲を持ち、その取組に指導力を発揮している。	保育園では、毎月の職員会議で自由に意見を出し合うことや毎月、園内研修を行うなど保育の質の向上に向けて取り組んでいる。施設長は目標項目や達成レベル、方法等の「目標管理シート」を用いて、人事考課に基づいた職員の個人面談を行っている。又、今年から新たに、保育業務全般の「自己評価」を導入し、全職員が目標を設定し、上期と下期の年2回の評価や分析、改善点などの取りまとめが施設長のもとで行われている。	a	12
② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	施設長は法人支店と連携して人事・労務の適正な運用を図るとともに、毎月収支の分析を行い、拠点事業報告で事業の点検を行い正常な運営に努めている。保育園の運営については「園児一人ひとりに丁寧にかかわる」ことを掲げ、職員会議や職員研修で共通理解を図り、常日頃なんでも言い合える明るい環境作りに努め、職員全体で取り組んでいる。	a	13
2 福祉人材の確保・育成			
(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			
① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	法人は、保育園の運営に必要な福祉人材の確保や人材育成の方針を定めている。保育園に必要な職員の確保や配置は法人支店と保育園が連携して行っている。現在、保育園の運営に必要な職員は整っている。	a	14

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 総合的な人事管理が行われている。	法人において保育園職員の「期待する職員像」が定められている。人事管理は法人の人事理念や処遇基準などにより、法人支店が行なっている。職員には入社時に、就業規則や人事基準、キャリアアップ研修等が説明されている。就業規則等は保育園で閲覧できる。今後、更に「期待する職員像」の成文化や人事基準、キャリアパス(昇進昇格の基準、必要となるスキル、必要となるスキルを獲得するための機会(研修)の明確化、職員の意向等)について、継続して取り組んで頂きたい。	b	15
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	法人の福利厚生制度が確立しており、休日休暇・休業制度や両立支援制度が充実している。保育園では、年次有給休暇の取得が励行され100%取得している。又、健康診断やインフルエンザ等の予防接種は就業時間内に保育園の負担で行われている。施設長は職員との年2回の個人面談をはじめ職員会議や日頃のコミュニケーションを通して、何でも話しやすい環境作りに取り組んでいる。家庭状況に合わせて就業時間の変更や希望を入れる等働きやすい職場づくりに努めている。	a	16

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	年度当初に、職員は法人の「目標管理シート」を用いて、目標を設定して施設長へ提出している。前期と後期の2回、施設長の人事考課に基づく、個別面談があり一人ひとり達成度の確認や評価が行われ、経験値に合わせて個別の指導と育成が行われている。	a	17
② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	法人において、職員研修の基本方針が定められている。入社時研修を始め3カ月間のOJT研修、フォローアップ・コーチング研修、ミドルマネジメント研修など体系的に研修が行われている。保育園でのOJT研修には施設長と法人のOJT指導者研修を受けた保育士が担当し、カリキュラムに沿い期間中きめ細かな指導が行われている。又、計画された園内研修が毎月行われている。	a	18
③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	法人が行う階層別研修や職種別研修には対象職員が受講している。職員の研修履歴が記録され、個別研修の予定や実績が把握されている。保育園においては全職員の意見を基に年間研修計画が策定され実施されている。研修計画は研修後のアンケートや年度末の評価により見直しが行われている。仙台市や仙台市保育士連合会等主催の外部研修には、年度初めに職員の希望を取り早めに申し込むなどしていたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止の為全面的に中止している。	a	19
(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。			
① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	実習生受け入れマニュアルやプログラムが整備されており、実習生を受け入れる体制は整っているが受け入れの実績はない。法人支店で養成校卒業生の採用の実績を上げることや保育士養成校へ訪問する等アプローチはしている。更に保育園の知名度を上げる等、実習生を積極的に受け入れる取り組みが望まれる。	b	20
3 運営の透明性の確保			

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。			
① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	<p>法人の事業報告、決算状況がホームページに公表されている。保育園の運営や子育て支援の内容等もホームページに公表されている。保育園の予算や決算状況は保育園で閲覧できるようにしている。苦情相談や体制については保育園の玄関に掲示し、「入園兼重要事項説明書に」記載している。苦情や相談の公表は申し出者の了解のもとで行われている。子育て支援として就園前の保護者と子どもを対象に月2回「子育てひろば」を行っている。</p>	a	21

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	保育園の運営は法人の事務分掌、経理規程、マニュアル等に基づき、施設長の責任のもと、職員に周知され行われている。法人支店へは毎日、収支日計表を提出し、内部監査を毎年受けている。本社において決算監査や外部監査が行われホームページ上に公表されている。	a	22
4 地域との交流、地域貢献			
(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	令和2年9月から、月2回のペースで「子育てひろば」を開催し、地域の子どもとの交流の場としている。開催にあたっての参加者募集は、ホームページに掲載して平日の10時から10時30分に実施している。参加者は、3歳未満児が大半で、親子2組程度を目標にしている。11月に地域の人々との交流の場づくりの一環として、3歳以上児と共に地区の若林警察署と保育園近くのスーパーマーケットを訪問して働く皆さんへの感謝の気持ちを表した。	a	23
② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	ボランティア受け入れのマニュアルは作成している。「開かれた保育園」を目標に取り組んでおり、その機会があればいつでも受け入れることとしている。しかし、積極的な取り組みが見られず、昨年度までは受け入れの実績は無い。今後は受け入れに対する基本姿勢を明確にした、体制の確立を期待したい。	b	24
(2) 関係機関との連携が確保されている。			
① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	在園児の成長発達等に気になる様子が見られた時は、保護者と良く話し合い、専門の機関を案内したり、仙台市が実施している保健師の巡回訪問の機会に相談している。若林区保険福祉センタ家庭健康課が主催している「七郷地区子育て交流会」や児童相談所、保健所、病院、消防署、警察署等と連携している。必要に応じて「園だより」「ほけんだより」等で保護者へ情報提供をしている。	a	25

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。			
① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	地域の福祉ニーズの把握は、仙台市のホームページや区役所保育課に待機児童の情報を確認している。「七郷地区子育て交流会」に参加し、情報交流が行われている。今後は地域の各種会合や行事への参加、災害時の連携・地域住民との交流活動などを通じて、より一層、地域の福祉ニーズの把握に取り組むことが望まれる。	b	26

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。	保育園を利用している保護者に対する子育て支援として、懇談会や保育参加、園だより等による情報発信を行っている。ホームページで、地域の保護者等に対する園庭開放を行っている。親子ふれあい遊びや離乳食教室等の参加呼びかけを計画したが、コロナ禍の関係で中止となっている。	a	27
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施			
1 利用者本位の福祉サービス			
(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
① 子どもを尊重した保育について共通の理解を持つための取組を行っている。	ニチイキッズ仙台あらい保育園の保育方針は「すくすく、わくわく、いきいき」で保育のテーマは「思いっきり遊ぶ、思いっきり学ぶ」であり、子どもを尊重した保育の実施を明示している。職員は、毎月実施している職員会議で、保育方針や全国保育士会倫理綱領を唱和している。同時に、保育全般の反省を行い子ども一人ひとりを大切にしたい保育を実践している。	a	28
② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	特に、園児の送迎時等の保護者との会話で、他の個人情報に関わるような話題には、十分に注意するように職員に周知している。個人情報保護規程や個人情報マニュアルを作成し、職員の研修等で活用している。個人情報に関わる書類は、施錠可能な書棚で管理している。	a	29
(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。			
① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	保育園の選択に必要な情報は、ニチイキッズ仙台あらい保育園のホームページで、細部に亘り紹介している。三大アレルギー除去食、外国人講師による英語レッスンや専門講師による体操教室、リトミック等具体的な取り組みを紹介している。入園説明・見学については、随時、入園案内・重要事項説明書で説明している。	a	30

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	保育の開始に当たっては、「入園案内兼重要事項説明書」で入園時に保護者に説明し同意を得ている。保育の変更に当たっても「入園案内兼重要事項説明書」で説明し同意を得ている。	a	31
③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	保育園移行の希望があった場合は、行政が定めた様式により速やかに手続きを行っている。移行後の対応は、施設長を窓口とした保護者が相談できる体制である。移行先からの問い合わせ等については、相互に連絡を取り合っている。	a	32
(3) 利用者満足の上昇に努めている。			
① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	利用者満足を取り組みとして、各種行事の実施後に保護者アンケート調査や意見箱を玄関に設置して意見・要望を聞いている。保育全般にわたる利用者満足把握するため、保護者懇談会や保護者の聞き取りを定期的に行う等仕組みの構築と向上に向けた取り組みも行われている。	a	33
(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	相談・苦情処理受付担当者に施設長を窓口にした体制を重要事項説明書に記載し配布している。入園時に保護者に配布し説明している。園の玄関に苦情解決制度についてのおしらせを掲示し周知している。	a	34

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
<p>② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。</p>	<p>保護者からの相談については、その内容に応じて相談室を使用している。玄関には、意見箱と定められた用紙が設置しており、保護者がいつでも利用できる様になっている。</p>	<p>a</p>	<p>35</p>
<p>③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。</p>	<p>運営委員会(保護者代表3名、有識者1名、施設長1名、法人1名)を年2回開催し、意見を交換し合い利用者の立場に立った充実した保育を行うためのものとなっている。意見箱や家族アンケートの実施などで保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。内容によっては支店に報告し、検討に時間がかかる場合には期限を定めて報告する体制が整っている。</p>	<p>a</p>	<p>36</p>

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。			
① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	リスクマネジメントの責任者に施設長を配置している。ヒヤリハットを含む「事故トラブル検討会議」を毎月実施している。危機管理マニュアルに添って実行し、安全な保育環境の維持に努めている。出入口は常に施錠し、インターホンで対応、視覚による確認を徹底し、不審者の侵入防止に努めている。隔月毎に防犯訓練を実施している。	a	37
② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	感染症対策については、施設長を責任者として配置し、管理体制を整備している。衛生管理マニュアルを作成し感染症の予防や安全確認ための研修を行っている。感染症の予防を徹底している。感染症が発生した場合は、保護者や自治体関係機関への報告を即座に行うこととしている。	a	38
③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	非常災害対策として、地震や火事、水害等様々な災害を想定して避難訓練を毎月実施している。不審者の侵入防止と警備会社との間の緊急通報の確認を目的とした防犯訓練を隔月実施している。消防署の参加を得て年1回実施する総合避難訓練(指定避難場所への避難、消火訓練、災害伝言ダイヤルの実施、引き渡し訓練)が行われている。	a	39
2 福祉サービスの質の確保			
(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。			
① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	保育業務マニュアルや「入園案内兼重要事項説明書」で保育方針・保育計画が明示されている。年齢別デイリー・プログラムや年間の主な行事、保育内容も文書化されている。各職員が「保育業務マニュアル」を活用して標準的な保育を行う仕組みができています。	a	40

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	標準的な実施方法に関する見直しは、本社が一括して実施しており、改版の都度、その履歴も記載されている。職員や保護者の意見を聞き、必要に応じ本社と協議して見直し出来る仕組みがある。	a	41
(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。			
① アセスメントに基づく指導計画を適切に策定している。	各クラス担任は入園時のヒヤリングや保護者との話し合いを基にアセスメントを行っている。「全体的な計画」に基づいて、0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児別に年間指導計画を作成している。それぞれの年齢に応じた保育目標と、幼児期の終わりまでに育てて欲しい姿を明確にして取り組んでいる。	a	42

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	園児それぞれの年齢に応じた指導計画が策定されている。各指導計画は決められた期間に評価・反省をし次の計画に繋げている。	a	43
(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。			
① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	保育実施状況の記録は、法人本部の策定している様式を用い、保育日誌、給食日誌等に適切に記録されている。その日の情報は、週3回の昼のミーティング時に報告するとともに施設日誌に記録し、情報の早期周知を図っている。記録内容は必ず全職員が確認することを義務としている。	a	44
② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	保育の提供や個人情報に関する各種記録は、法人が定めた文書管理規程、仙台あらい保育園運営規程等に基づき管理されている。これらを記録した書類は、鍵の掛かる書棚で厳重に保管している。	a	45
A 福祉サービスの内容			
A-1 保育内容			
A-1-(1) 保育課程の編成			
① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	保育指針のねらいを基に、法人の保育理念と保育目標を掲げている。法人本部が各保育園の共通仕様の「全体的な計画」を作成し、これを基に年間・月間等の「指導計画」を作成している。今後は、職員参画のもと保育課程(全体的な計画)の定期的な評価を行うと共に、地域交流や地域の特性を取り入れるなど、当園独自の特色ある計画の策定を期待したい。	b	46

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開			
① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	各保育室は南面で明るく、床暖房・冷暖房・加湿器・空気清浄器が完備している。クッション性のある床材や手指をはさまない開閉扉や室内角部への緩衝材の設置等、安全面で配慮されている。室内外の清掃、遊具・用具類の消毒を定期的に行い、常に清潔な状態が保たれ、園全体の衛生環境も良好である。	a	47
② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	各クラスの引継ぎ表や職員会議(1回/月)、ミーティング(3回/週)等で、職員全体が子どもの共通理解に努めている。子どもへの働きかけが気になる職員に対しては、適宜個別に事情を聴き、施設長や主任が適切な指導を行っている。また、自己評価(1回/年)で、保育への自己振り返りを行っている。	a	48
③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	自分の物を置く場所が分かるようにロッカーや棚へのシールの貼付、トイレのスリッパを置く場所のマーキング、「手洗いの手順」の絵の掲示等、基本的な生活習慣の習得のための環境構成が工夫されている。3歳未満児では、個別計画により、目標や発達に合わせた対応が確認できる。しかし更に、各年齢に応じた習得目標や働きかけ等、標準的に求められる取り組み内容を「保育業務マニュアル等」に明示することが望まれる。	b	49
④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	リトミック、体操教室(3歳以上児)などで、のびのびと体を動かす活動を取り入れている。また、体操教室と同様に外部講師を招聘しての英語レッスン(全園児対象)も行っている。近くにある4つの公園への散歩は、年齢や目的に応じて行っている。保育園では、食育活動の一環として、野菜の栽培・収穫体験を行っている。今年はコロナ禍で多少制限されたものの、地域の高齢者との触れ合い、警察署・スーパーマーケットでの交流・活動等を通して、社会体験を得られるよう努めている。	a	50

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
<p>⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>新しく導入されたコドモン保育ICTシステムを活用し、家庭での状況や保育園での様子を伝達し合っている。個別指導計画は作成されているが、更に発達の評価・記録を基にして、発達過程に応じた適切な援助や環境構成に期待したい。(例えば、パーティションの活用による落ち着いた環境の整備、発達に即した手作り玩具の工夫等)</p>	b	51
<p>⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>1歳児12名に保育士2名、2歳児12名に保育士2名のクラス配置であるが、月齢の低い子や発達の遅れが懸念される子がいるクラスには、必要に応じて補助職員を配置している。一人ひとりの子どもの状況は、保育ITCシステムを活用し、各家庭と情報共有を行っている。尚、個別計画は作成されているが、発達の記録記入において、目標達成に向けた保育士の関わりや援助・配慮事項等の記載も望まれる。</p>	b	52

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
<p>⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>3歳児10名に保育士1名、4歳児11名に保育士1名、5歳児8名に保育士1名の配置で、子ども一人ひとりと保育士が、密接に関わることのできる人員体制である。戸外活動・運動遊び・リズム体操・絵画制作等の活動を通して、年齢に即した意欲や表現力を育むよう指導・援助をしている。遊びや活動では、年齢による発達の違いを考慮し、それぞれ満足感や達成感を味わえるよう配慮している。今後、異年齢交流保育の指導案を立案し計画的に取り入れることで、心の成長(やさしさ、思いやり、協力し合う等)の機会となることを期待したい。</p>	b	53
<p>⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>該当する子供がいない。</p>		54
<p>⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>平日7時から20時まで、土曜日7時から18時までの保育が可能である。各クラスの「年間指導計画」に、園としての「長時間保育」の取り組みの姿勢が明記されている。人数が減った時点で、保育室が変わったり、混合保育になったりすることで、子ども達が疲れを感じてくる時間帯には、できるだけゆったり過ごせるよう配慮している。各クラスの引継ぎ表・ミーティング(3回/週)で、職員間の情報共有がなされ、日々の延長保育の様子は、延長保育日誌にも記録されている。18時過ぎは補食を、20時までの延長保育では夕食を提供している。</p>	a	55

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	年間・月間指導計画で、就学に向けた保育内容の充実を図り、子ども達が小学校生活に期待を持てるように支援している。幼・保・小の連絡協議会には、担任保育士が参加し、小学校との綿密な連携を図っている。コロナ禍で、小学校見学が中止となったが、小学校から提供される1年生の学校生活の様子のDVDを視聴している。保育所児童保育要録を作成している。1月の懇談会では、就学に向けた情報や家庭での心構えを説明し、保護者が子どもの小学校生活に見通しが持てるように働きかけをしている。	a	56
A-1-(3) 健康管理			
① 子どもの健康管理を適切に行っている。	法人本部作成の「年間保健計画」「衛生管理マニュアル」に基づき、保護者と連携しながら、子どもの健康管理に努めている。既往症・予防接種等の状況については、保護者から随時情報を得て、児童票に記載している。「ほけんだより」を発行し、保育園の健康管理の取り組みや季節毎の健康に関する情報・感染症予防対策等を適宜保護者に伝えている。全園児の検温(2回/日)を行い、体調不良の早期発見に努めている。また、全クラス「睡眠チェックシート」を用いて睡眠状態を確認し、乳幼児突然死症候群(SIDS)の防止に取り組んでいる。	a	57
② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	健康診断(2回/年)、歯科検診(1回/年)を実施し、検診結果を健康管理カードに記録し、保護者にも連絡している。4・5歳児は、食後の歯磨きと保育園で用意したフッ素添加の水溶液でのうがい、3歳児は食後の水道水でのうがいを行っている。虫歯率が高い状況を保護者と共有し、早目の治療の促しや家庭での毎日の歯磨きと保護者による仕上げ磨きの実施を働きかけることで、健康づくりに向けた継続的な取り組みが望まれる。子どもに対しては、引き続き絵本や紙芝居等、保育教材を使つての健康啓発や3歳未満児の発達に応じた虫歯予防への取り組みが望まれる。	b	58

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	「食物アレルギーマニュアル」に基づき、保育士と栄養士・調理員が連携して、アレルギーに対応する体制ができている。現在は食物アレルギー児はいないが、緊急時の食物アレルギー等対応表・食物アレルギー児童用食事箋も準備されている。また、保護者に対するアレルギー食物調査票も用意されている。昼食は、三大アレルゲン(牛乳・卵・小麦)除去の献立が提供され、アレルギーのある子もいない子も同じ給食を食べる体制も用意されている。	a	59
A-1-(4) 食事			
① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	年間食育計画(3歳未満児・3歳以上児)を法人本部が作成し、特色とする「おもいっきり給食」を実施している。三大アレルゲン食材除去の献立導入で、給食方針である「おもいっきり遊んで、おもいっきり空腹になって、おもいっきりみんなで食べられる給食」を実施している。栄養士が中心となって計画的に、食育活動も行われ、食への興味・関心を高めている。食器は陶磁器製で、スプーンや箸も年齢に合わせた扱いやすい形状の物を使用している。保護者に向けては、給食のサンプル展示、給食献立や給食だよりの配布を行っている。	a	60
② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	法人本部が作成した各種マニュアル(給食衛生・食中毒・食物アレルギー・調乳・離乳食の作り方と進め方等)に基づき、安心・安全な給食の提供に努めている。献立表は、法人本部が作成した「統一献立」が基本であるが、季節や行事にちなんだ行事食・郷土食を取り入れ、当園独自の工夫が見られる。栄養士と調理員が、各保育室を巡回し、子どもの食事の様子や喫食状況を確認し、日々の給食提供に役立っている。	a	61

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
A-2 子育て支援			
A-2-(1) 家庭との緊密な連携			
① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	<p>毎日の送迎時の会話や連絡帳で園や家庭での生活の様子を情報交換している。「園だより」「クラスだより」を毎月発行し、活動のねらいや遊びの様子を伝えている。意見交換の場として、各クラス代表1名と職員・学識経験者で組織された運営委員会や保育参観・クラス懇談会も行っている。</p>	a	62

事業所名( ニチイキッズ仙台あらい保育園 )

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
A-2-(2) 保護者等の支援			
① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	指導計画に「子育て支援(保護者支援)」欄を設け、保護者の子育て支援に取り組んでいる。送迎時の保護者との関わりを通して、信頼関係を築くように努めている。相談を受けた職員は、相談室で個別面談の場を設け相談に応じる体制をとっている。	a	63
② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	保育士は、日々の視診・観察を通して虐待防止に努めている。今後は、職員に向けて法人本部で作成した「児童虐待防止マニュアル」を使っての研修や「自己評価」を使った自身の保育の振り返りを期待したい。保護者に向けては、日頃の職員との関わりを通して、早期発見・早期対応の体制作りや目に付きやすい場所への児童虐待防止のポスターの掲示等、引き続き積極的な取り組みに期待したい。	b	64
A-3 保育の質の向上			
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)			
① 保育士等が主体的に保育実践の振り返りを行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	保育の質の改善と充実、専門性の向上や職員間の協働性を高めることを目的とした「自己評価」が今年度新たに法人本部で作成された。それを基に「自分の保育実践が子どもの生活や育ちにどう関わったか？」等、保育士としての専門性を問うと共に、主体的に保育の過程を振り返り、整理・記録することで「自己評価」を行っている。	a	65